

令和7年度第2回座間市社会教育委員会議会議録

会議の名称	令和7年度第2回座間市社会教育委員会議		
開催日時	令和7年7月16日（水）10:00～12:00		
開催場所	座間市役所 5階 5-4会議室		
出席者	赤羽議長、宮代副議長、小多喜委員、乾委員、金井委員		
事務担当	郡司生涯学習課長 ほか2人		
関係各課	飯田図書館長、安部スポーツ課長、高野こども育成課長		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経過報告と今後の事業について 2. 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会第4回広報部会について（報告） 3. 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会第3回連絡調整会議について（報告） 4. 令和7年度神奈川県社会教育委員連絡協議会総会について（報告） 5. 研究テーマについて 		
資料の名称	資料1. 第2回座間市社会教育委員会議経過報告 資料2. 月間行事予定表 資料3. 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会第4回広報部会 資料4. 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会第3回連絡調整会議 資料5. 令和7年度神奈川県社会教育委員連絡協議会総会 資料6. 調査候補団体まとめ		
会議の結果			
子どもたちに様々な体験の機会を提供している団体や公民館等での活動について、「座間市おもちゃドクターの会」の活動を見学することに決定した。			

議事の概要

はじめに

本日は、委員7名中5名が出席。座間市社会教育委員会規則第3条4項の要件（過半数以上の出席）を満たしているため、本会議は成立する。佐々木委員と浦委員は欠席。

1. 経過報告と今後の事業について

事務局

資料1は、前回の会議後から本日（令和7年5月22日（木）～令和7年7月16日（水））までに、木島教育長が出席した社会教育関係事業の経過報告である。代表的なものをあげると、5月は「公民館まつり」（5月23日（金））、6月は「座間市演奏家連盟によるスクールコンサート（高学年の部・東原小学校）」（6月24日（火））、7月は「座間市青少年問題協議会」（7月3日（木））に出席された。

資料2は、今後3か月間の社会教育関係の行事予定である。7月は「夏休み親子手話講座 手話を覚えてデフリンピックを応援しよう」（7月23日（水）～7月26日（土））が開催される。今年は、「デフリンピック」（聴覚障がい者たちによる国際スポーツ大会）が日本で開催される。この講座は、デフリンピック選手を招いて行うものである。8月は「座間市成人式実行委員会設立会議」（8月3日（日））、「わくわくサイエンス『音の不思議』」（8月9日（土））、「こども夏まつり」（8月16日（土））、「夏休み自由研究応援講座」（8月23日（土））などが予定されている。9月は「生涯学習推進講座②、③」（9月2日（火）、6日（土））、「郷土の食文化講座」（9月13日（土））、「天井プラネタリウム」（9月20日（土））などが開催予定である。

赤羽議長

資料1、2について何か質問・意見等はないか。

各委員

特になし。

（図書館長、スポーツ課長、こども育成課長 退席）

2. 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会第4回広報部会について（報告）

事務局

（本会議について報告）

神奈川県から大会当日（11月20日（木）、21日（金））の運営に携わる人員を2名充てるよう依頼があったので、事務局から1名、社会教

育委員から1名選出したい。

赤羽議長 私と事務局で対応する。

3. 第56回関東甲信越社会教育研究大会神奈川大会実行委員会第3回連絡調整会議 について（報告）

赤羽議長 （本会議について報告）

4. 令和7年度神奈川県社会教育委員連絡協議会総会について（報告）

赤羽議長 （本会議について報告）

5. 研究テーマについて

事務局 令和7年度第1回社会教育委員会議（5月21日（水））において、子どもたちに様々な体験の機会を提供している団体や公民館等での活動について、調査候補団体としてあがった「座間市おもちゃドクターの会」と「不登校を語る会」についての活動実態を調査し、まとめた。

各委員 （視察する団体を審議）

赤羽議長 （座間市おもちゃドクターの会について）使い捨てる時代にありながら、壊れたおもちゃを捨てずにおもちゃ病院へ持っていく親子はとても素晴らしいと思う。

生涯学習課長 おもちゃ病院の活動を通し、親たちは物を大事にするということを子どもたちに伝え、子どもたちも大切なおもちゃを使い続けようという思いを抱くという一つの物語があり、その物語を終わらせないために活動を続けているというドクター側の物語もある。その二つの物語が交差する場所という意味でもおもちゃ病院は興味深い活動の場である。

赤羽議長 座間市おもちゃドクターの会へ8月16日（土）の活動（公民館）での見学を打診する。

生涯学習課長 当日は、前述の「こども夏まつり」も開催されているので、おもちゃ病院だけでなく、子どもたちと地域の方々が関わる様子を見る機会でもある。

赤羽議長 事務局の方で先方と連絡を取って視察の調整をするようお願いする。不登校を語る会の調査については次回以降の会議で検討する。

【次回会議 令和7年9月24日（水）午前10時～市役所5階 教育委員会室】